



広報

イキシア

2019年9月

81号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっと思いを集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

『一つの節目』

理事長 寺田 一郎

この夏行われた参議院選挙の争点の一つは、年金問題でした。年金は何時の選挙でも重大な関心事となっていますが、特に今年は「年金だけでは老後の生活資金が不足する」という金融庁の報告書「高齢社会における資産形成・管理」が出て、担当大臣が「受け取らない」などと発言して話題となりました。

本日は深刻な問題なのに低レベルの議論になってしまいました。今は働け働けということですが、年金を律義に永年取めていざ受け取ってみたらとても生きていけない、という実態があります。特に国民年金では生活保護よりはるかに低額です。正直者が報われない社会というのは一体何でしょうか。

ところで年金を受給するようになることは、人生における節目であると思います。今回は「私にとっての一つの節目」について取り上げました。

千葉精と私

去る五月二十八日、千葉県文化会館聖賢堂でNPO千葉県精神障害者自立支援事業協会（以下、千葉精）の年次総会が開催されました。その席で、私

は会長職から解放されました。数年前からの希望を次世代の人たちが実現してくれたのです。

この団体は一九九〇年（平成二年）に立ち上げた精神障害者の社会復帰施設を会員とする事業者団体です。私にとって全国精神障害者社会復帰施設協会（全精社協）と並んで思い出深い活動でした。

一九九〇年十月三十一日、千葉県精神保健福祉センターにて「千葉県精神障害者社会復帰施設協議会」設立総会が開催され千葉精が誕生しました。三法人の五施設が会員、一施設が入会予定となって実に細々と発足しました。

会長には三芳病院を母体とする三芳野会の寺嶋堅三氏が就任し、副会長には光元和憲氏（医療法人心和会）と寺田が就任しました。私は事務局長を兼務し、事務局もワーナーホームに置くこととなりましたが、それが今日まで続いています。この辺りの医療機関と福祉施設との関係性についてはお汲み取り下さい。

なお、同じ月に全国精神障害者社会復帰施設協議会（全精

社協、後に社会福祉法人、会長谷中輝雄、副会長寺田一郎、事務局長新保祐元）が発足し、千葉精は国内初の県単組織となりました。

千葉精発足後は、毎年定例総会や宿泊研修会を重ねてきましたが、初めての宿泊研修は一九九一年九月に館山の静海荘で開催されました。

この研修会では太田廣三郎先生（元千葉県精神保健センター長）が講演を引き受けて下さり「精神障害者の社会復帰」は今でも新鮮な示唆を与えてくれています。太田先生は自宅に精神障害者を宿泊させ地域生活支援を実践された精神科医として伝説中の人物ですが、後にワーナーホームの嘱託医や理事に就任していただきました。余談ですが、先生は仏教に大変造詣が深かったのですが実はカトリックの信者だということを通夜式のときに初めて知りました（『続虹の約束』に詳細）。

以後も総会時と秋の宿泊研修は続けられ、情報収集、ネットワーク作り、施設職員育成のための貴重な機会を提供してきました。ここで各施設の新入職

員はデビューします。

一九九三年六月、寺田が会長に就任し、二〇〇六年、障害者自立支援法が施行されます。

千葉精は同年、臨時総会を開催、組織を変更し名称を「特定非営利活動法人千葉県精神障害者自立支援事業協会」とすることを決議しました。

新法への移行は、それぞれの運営法人・団体にとって最重要課題でしたが、他法人などの様子を見ていたりでなかなか新制度へ踏み切れない団体も多かったのです。

事業者団体という存在は、精神障害者の理解と支援という専門性の部分では極めて重要な存在である、と今改めて思います。私にとっては、この二十九年間に及ぶ活動をとおして実に多くの人たちの交わりの中で多くの刺激を受け、業界の課題にも直面しました。一つひとつが宝となりました。その活動に区切りをつけたことは人生においても大きな節目となりました。皆様に改めて感謝致します。



クローワール(日中サービスマン)事業開始



二〇一八年、グループホーム(共同生活援助)は新たに「日中サービスマン支援型」が新設されました。日中サービスマン支援型とは、重度の障害者等に対し、常時の支援を可能とするグループホームです。また、重度障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供するため、短期入所の併設が必要です。

二〇〇八年のホレブ寮大改修工事後に事業を開始した「ケアホーム第一(共同生活介護)」は、二〇一四年の法改正により、共同生活援助(介護サービスマン包括型)としてこれまで一〇名の定員で高

齢・重度の利用者の受け入れを行ってきました。グループホームでありながら、夜間も職員とすぐに連絡が取れる体制を整え、同建物内では、緊急時の受け入れも行う「シェアスタ(短期入所)」にて夜間の職員を配置してまいりました。まさに、日中サービスマン支援型を行ってきたと言えます。また、二〇一八年七月に車いすの方も利用しやすいように正面玄関を自動ドアへ改修しました。

そして、二〇一九年五月よりクローワールは日中サービスマン支援型へ移行し、これまで以上に利用者への支援を厚く行えるよう職員の育成を行うこととしました。隔月で職員の希望とするテーマを中心に事業所内研修を行っていますが、内容は制度や事例検討はもちろん、排泄介助や緊急時の救急法も行う予定です。利用者も、それぞれの生活を安心して過ごすことができるクローワールでありたいと思います。そのためにも、職員が日頃から感じる支援の疑問を共有し、解決することでスキルアップを目指します。(武藤)

職員研修(人事課)



ワーカーホームの職員研修は、三つの体系で実施しております、①研修委員会 ②事業所別 ③人事課とあります。ここでは、人事課が行う研修についてご紹介いたします。

新入職員、二〇四年目フォローアップ、主任・リーダー、管理者向けとして、それぞれの役割や段階を踏まえたキャリア研修を行っています。

★新人研修
職員の定着を図り、即戦力としての人材を育成すること、ワーカーホームの職員としての意識を持つこと、法人・組織を理解すること、働く上での知識、技術、ビジネスマナーを身につけること等を目的とし、定期的に行っています。



グループワークでは、就職してから不安や悩み、課題を共有する等、前向きに話し合える場となっています。自然と同期の意識が芽生えていることを実感します。

★二〇四年目職員フォローアップ研修
就職して段々周りが見えてきた頃の職員には、これから自分自身の働き方や目標を見失わないよう、モチベーションアップを図るための研修を行っています。

七月の研修会では、先輩職員より「自分自身の二〇三年目職員だった頃の働き方、体験談」を聞き、主任・リーダー達をファシリテーターとしたグループワークを行いました。

★主任・リーダー研修
改めて法人の「理念」、「支援の原則」、「職員の姿勢」を再認識すること。主任・リーダーの役割について考えることを目的としています。

前回の研修では、ワーカーホーム創立時の話を理事長より直接聞くという貴重な時間を設けました。また、個々で抱えている悩みの共有、後輩育成のためのヒントを持ち帰る機会になっています。

★管理者研修
外部研修を利用し、中堅職員・チームリーダー・管理者研修を受講しています。

また、法人内施設長研修では、理事長より役割を遂行するための講義があり、施設長達も研鑽に努めています。



(高木)

イキシア版活動日記

〈ぶらり〉

ぶらり親睦BBQ



場所:ぶらりの庭

〈新ホレブ・ノバハイツ白里〉

ホレブ寮・ノバハイツ白里合同日帰り旅行



場所:筑波宇宙センター

〈たんぽぽセンター地域活動
支援センター・わたげワークス〉

GW特別企画☆たんぽぽ・わたげ卓球大会(5.1)



場所:たんぽぽホール

〈山武ブリオ〉

2019年6月度就労ミーティング(交流会)
「リラクゼーションとストレスコーピング」



場所:パンクインハウスホール

〈すくすく〉

ジャズコンサート



場所:たんぽぽホール

〈たんぽぽセンター地域
活動支援センター〉

室内BBQ



場所:たんぽぽホール

ホームページでも
「活動日記」を
掲載しています。
ご覧下さい。

〈フジエール〉

日帰り旅行



場所:太陽の里

スポーツの秋!

ソフトバレーボール ワーマンズ



秋と言えば、読書、芸術、食欲の秋とありますが、やはりスポーツの秋です。ワーマンズでは、ワーマンズという団体でソフトバレーを行っています。私たちワーマンズは、公式大会の出場を目指し、ソフトバレーボールの練習に日々取り組んでいます。今年度より職員が一新、新生ワーマンズとして再スタートを切りました。バレー経験職員も担当となり、より一層技術に磨きをかけ、スポーツを満喫していきたいと考えております。また、十分に体調面にも

配慮しています。必ず水分補給と適度な休憩をはさみながら、事故や怪我防止にも努めています。他の団体との練習試合や合同のレクリエーションも予定しており、スポーツを通じて、仲間との触れ合いや絆を深める場も設けております。新生ワーマンズのチームワークはまだ未熟です。ボールの扱いに慣れていない方も多く、不器用ながらサーブやレシーブに励んでいるところです。冬の公式大会に向け、一致団結して進んでまいりますので、応援のほどよろ



選手募集中!

しくお願い致します。食べ物が美味しい季節、ぼくらとともに汗をかいて体を動かしてみませんか。

ワーマンズではソフトバレーボールに興味のある方、また参加してみたい方を大募集しております。見学だけという方、バレーボール初心者でも大歓迎です。性別は問いません。ぜひ練習に足を運んでみて下さい。練習は第二・第四土曜日に大網白里市立増穂北小学校等で練習を行っておりますので、気軽にお問い合わせください。

今年の秋は何をしようかと迷っている方、バレーボールと一緒に白球を追いかけてみませんか。
(草野)

練習日 毎月第二・四土曜日
十四時～十六時
高谷菜 高谷菜
ワーマンズホーム
〇四七五七七二二〇〇

わーなー日記 《すくすく・てくてく》



四月より児童発達支援すくすく北柏を開所しました。0歳～就学前の医療的ケア(痰の吸引、胃ろうからの注入など)のある子どもが対象で、日常生活の自立支援や機能訓練、遊びや学びの場を提供しています。

すくすくらしいゆつくりとしたスタートですが、五月二十九日に寺田多美江さん監修のもと、バルーンアートの虹や桜の木の下で、六組のご家族に参加して頂き入園式を行いました。

名前を呼ばれると一人ひとり前に出て、理事長に入園のお祝いのメダルを首にかけてもらいました。緊張していたり、嬉しそうだったり、なに?と不思議そうだったり、子どもたちのいつもとちよつと違う表情が見られました。

交流のあるわらび保育園支援センターの佐藤先生にも出席して頂き、すくすくの歌をみんなで歌ったり、手遊びを



したりと和やかな雰囲気となりました。病院を退院してから通所を利用されるのが初めての方も多いため、保護者同士の親睦を深めるために懇親会も行いました。子どもの話しかもちろんですが、子どもの時になりましたが、職業、趣味などお題が書いてあるカードを引いて子どもと関係ない話もしました。と大いに盛り上がりました。

今回初めてのイベントでしたが、積極的に保護者同士関わろうとする姿が見られ、子ども支援だけではなく、保護者の関係作りをお手伝いする、悩みを話せる場所を増やしていくなどの保護者支援も大切に行っていきたいと強く思う会となりました。

ペジーブル柏

住 所: 柏市柏下93-2
営業時間: 9:00~15:30
定 休 日: 水・日曜日



レーズンブレッド
440円

レーズンたっぷり、ずっしりとした重さに驚きの声があがります。お土産用にと購入されるお客様も多く、口コミでそのおいしさが広がっています。



マカダミア・ノワール 230円

人目をひく黒い姿の秘密は、パン生地に練り込んだココアバターです。ほろにがチョコダイスとマカダミアナッツのココア香るハーモニーをどうぞ。

くりのすけ 200円

秋の楽しみ、ほっこりやさしく甘い栗。ペジーブル柏のくりのすけは、おいしさはもちろん、かわいらしい形でも大人気。秋の訪れを感じる一品です。



個性それぞれ!
各店おすすめ3品
ご紹介!

ペジーブル3店舗合同 食欲の秋特集



ペジーブル鎌取

住 所: 千葉市緑区辺田町605-2
営業時間: 10:00~16:00
定 休 日: 土・日・祝日



ライ・カンパーニュ
400円

カンパーニュはライ麦を使用した、フランス語で「田舎のパン」を意味し、大変食べ応えのある食事パンです。夏はサンドイッチに、これからの季節はスープに合わせてどうぞ。写真手前はミュージリー、後ろはカンパーニュ



大納言パン 300円

お子様にも大人気、ふわっとした生地にたっぷりのおイモと大納言小豆が練りこまれています。ほんのり焼目を付けて食べるのがおすすめです!

ゆずとクルミのライ麦パン 380円

秋といえば木の実と柑橘類。ライ麦使用のパン生地にゆずとクルミを沢山入れました。軽くトーストして紅茶と一緒に、午後のちょっとしたおやつにも良いですよ。

ペジーブル茂原

住 所: 茂原市三ヶ谷1816-1
営業時間: 9:30~15:00
定 休 日: 日・月曜日

**茂原産いちじくの
デニッシュ 時価**

地場産の完熟いちじくをのせたデニッシュです。土台のカスタードクリームとサワークリームが、味に奥行きを出しています。



ひよこパン 140円

毎年イベントの多い秋に登場する人気の一品です。カボチャの生地で作った二羽のひよこの片方にカスタードクリーム、もう片方にチョコクリームが入っており、お土産やお子様にも人気です。



**ゴルゴンソーラとクルミのフォカッチャ、
ハチミツがけ 180円**

マイルドのタイプのブルーチーズとクルミをフォカッチャ生地のにのせ、ハチミツをかけました。優しい甘辛さがクセになる一品です。

ワーナーホーム ワーキング パパ

～ 目指せイクメン～



柏拠点
みつばち訪問
看護ステーション
リーダー
土屋 光紀
(看護師)

●● 一日の流れ ●●

6:30	起床・シャワー
6:50	朝食
8:00	出勤
17:00	退勤
18:00	保育所・学童保育の迎え
19:00	夕食
20:00	家族団欒
22:00	就寝



●● とある休みの日 ●●

9:00	起床
10:00	遅めの朝食
11:00	娘と散歩・公園でブランコ
14:00	家族でバドミントン (近隣センター体育館)
16:00	買い物・散歩
18:00	夕食
20:00	団欒
22:00	就寝



私は、二〇一七年四月よりワーナーホームに入職しました。入職して早いもので三年目です。入職以前は、市川にある国立精神神経センター国府台病院に七年(デイケア時代に妻と出会い結婚)、その後、子育てのしやすさの妻の実家のある柏に越し初石病院で七年間勤めてきました。病棟で勤めていく中、病院で行う看護に違和感を持ち退院後の患者さんたちが、生き活きとその人らしく過ごす場所を寄り添いながら看護をしたいと思い、現在に至ります。

実際に訪問看護に出てみて利用者の方々の生き活きた姿や病棟の時には見られなかった晴れ晴れとした表情を見て、より一層訪問看護の必要性や地域医療・福祉の必要性を感じている今日この頃です。

現在、妻、長女九歳、次女四歳の女性に囲まれて楽しい毎日を過ごしています。子供ができる前は、男児が欲しいなという想いがありました。長女が生まれてからは女児の可愛さを知り、女児で良かったと思うようになりました。しかしながら、遊びとなると人形遊びやごっこ遊びが多く長女が幼い頃は付き合っただけで足りなかったのが実際でした。実際に自分一人外に出て海や雪山に出かけることも少なく、妻に育児を任せ負担を

かけることも多くありました。やっと最近になって外で遊ぶことにも興味を持ち始め、テニスやバドミントン、キャンプでは釣り、夏は私の実家のある伊豆下田の海で一緒に水泳、冬はスキー・スノーボードと一緒に楽しむことができるようになり子育てが楽しめるようになってきています。特にキャンプは自分自身も昨年の夏、柏拠点ですぐで働く前澤主任家族に同行し教わる中で川のせせらぎや焚き火の揺らめきに癒され、冬を除いては家族でキャンプに出かけるようになりました。娘たちも自然のなかで遊びを工夫し、キャンプ場で知り合った子達とも分け隔てなく遊んでいる姿や、自然の中に入って危険なことや考え作り出す学びをみてこういった機会を多く与えてあげたいなとキャンプに行く回数が増えてきています。

仕事の時間、子育ての時間、子育て後の夫婦の時間、自分の身の趣味の時間、等々時間には限りがありますが、一つ一つの時間をしっかりと味わいながら楽しみながら有意義なものにしていきたいとの原稿を書きながらこれまでを振り返り思いました。

今回、こうした機会を与えていただき感謝しています。ありがとうございました。

カトレア会便り

(会長 小川 伸子)

今年のカトレア会定時総会は、茂原市に新築された(福)ワナーホーム「ぶらり」で行いました。

議事終了後の和やかな昼食会の後は、今回、ワナーホームが、利用者のご家族の「親子後のことが心配」という切実な悩みを慮られ、実際に成年後見人として活躍されている弁護士の先生を、講師としてお招きし、成年後見制度について講演して頂きました。

この制度に対する関心が高いのか、出席者は、例年より多く十九名でした。私自身、いつ、事故や病気に見舞われるかわかりません。その時、



弟はどうなるのかという不安が、いつも頭の片隅にあり、この制度に関心がありました。

講師の安井飛鳥先生は、制度からこぼれやすい人達の支援を中心に、弁護士として、ソーシャルワーカーとして活躍されているだけに、私たちの状況や悩みをよく理解して下さっていて、思いやりのある暖かい感じの先生でした。

講演内容は、簡潔丁寧でわかりやすかったです。このような立派な先生にお会いでき、質疑応答では、真摯に、適切に答えて頂き、光栄に思いました。もつと多くの方々にも参加して欲しかったです。

この後、今年四月に開所したばかりの「ぶらり」を見学しました。茂原駅から徒歩五分の便利な立地で、食堂、水回り、居室は、綺麗で、使いやすいそうで居心地が良さそうでした。

「ぶらり」見学後、すぐ近くにある長生地域生活支援センターに行きました。ここで数名の利用者にお会いしました。同じ建物に、障害者就業・生活支援センター長生ブ



リオがあります。ここから多くの利用者が、職業訓練を受けられたり、就職していただけること。障害と付き合いつながり、前向きに働こうとしておられる利用者、それを支援する職員の皆様に感謝しました。

最後に、ベジブル茂原でパンを買い、お土産に、クッキーを頂いて帰りました。

また今年も例年通り、交流会を行います。今年で七回目で、私は毎年とても楽しみにしています。また、このような機会を持つことを、ありがたく思います。多くの方が参加されて、寺田理事長、野老様、武藤様も一緒に、楽しく和やかな一時を過ごして、悩みを共有しながら親睦を深めていきたいと思えます。私事ですが、弟がグループ



ホームでの生活が困難な状況となり、昨年十二月、退所しました。会長の任期は、来年五月までですが、四年間、会長を務めさせて頂き、とても良い経験をさせて頂けたと思います。会長として、評議員会と虐待防止委員会に参加させて頂き、そこで多くの素晴らしい方々に出会いました。また、以前は気付かなかった大切なことに気付かせて頂きました。

今、私がこうしていられるのは、ワナーホームのおかげです。弟が障害と付き合いながら三十年間、それなりに幸せな生活を送ることができましたこと、何より、厨房での就労は、本当にありがたく、有意義でした。感謝の気持ちで、いっぱいです。

交流会などではなく、勉強会、交流会などで家族同士の顔が見える関係、同じ悩みを共有できる機会となっています。交流を通して、情報交換を行い、利用者の今後を考えます。また、ワナーホームへ要望を出し、利用者が安心して過ごせることを見守り続ける役割も担っています。大網だけでなく、柏、千葉、茂原拠点のご家族も参加できます。多くのご家族に参加していただき、より有益な会にしていきたいと思っております。なお、年会費は三千元です。皆様のご入会をお待ちしております。(武藤)

カトレア会(家族会)
入会のご案内

カトレア会は、社会福祉法人ワナーホームの家族会で、

①精神障害者の親の悩みは切実なものであり、同じ悩みを持つ者が、慰め合える機会が欲しい ②社会復帰を目指す利用者に対し側面的な協力も考えていかなければならない(立ち上げ当初の案内文より抜粋)という目的で平成元年にご家族の有志によって立ち上がりました。

ワナーホームの主な動き

《五月》

- ・バーベキュー大会／長生地域生活支援センター
- ・親子パン教室／ワークショップ兼取
- ・BBQ・全体ミーティング／だいち
- ・春レク(BBQ)／ワークショップしらすと
- ・ジャズコンサート／すくすく
- ・児童発達支援入園式／すくすく

《六月》

- ・理事会
- ・カトレア会総会
- ・評議員会
- ・外出プログラム／イオンモール幕張新都心／長生地域生活支援センター
- ・他職種事例検討会／みつばち訪問看護ステーション
- ・日帰り旅行(太陽の里)／フジエール
- ・じゃがいも掘り・調理会／ワークショップ兼取
- ・パラスパーツ体験会／ワークショップしらすと

- ・アコーディオン演奏会&マジックショー／すくすく
- ・笑福会による演芸鑑賞会／ホレブデイサービスセンター
- ・交流会(リラクゼーションとストレスコーピング)／山武プリオ

《七月》

- ・他職種事例検討会／みつばち訪問看護ステーション
- ・夜勤室改修工事着工／フジエール
- ・在職者交流会(流しそうめん)／長生プリオ
- ・大網高校茶道部(茶道交流会)／ホレブデイサービスセンター
- ・夏レク(リソル生命の森ブローニユの森)／ワークショップしらすと
- ・合同日帰り旅行(筑波宇宙センター)／新ホレブ寮・ノバハイツ白里

《八月》

- ・一宮花火大会／長生地域生活支援センター

- ・活支援センター
- ・夏レク／だいち
- ・合同夏レクリエーション／新ホレブ寮・ノバハイツ白里
- ・納涼祭／本部拠点



みんなのまつり バザー用品募集!!

10月26日(土)に「みんなのまつり」を開催致します。ご家庭で眠っている品物がありましたら、是非ご提供ください。

イキシア入会のご案内

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報イキシアは年三回(一月・五月・九月)発行されます。

《会費》

賛助会員 三,〇〇〇円(年)
正会員 一〇,〇〇〇円(年)

編集後記

暑かった毎日でも少しずつ秋に向けて準備が進んでいます。ワナーホームではみんなのまつりに向けて準備を開始しています。みなさまは紅葉狩りやお出掛けと遊びに行く計画をされていますか?私もどこかに出掛けられたらなると頭の中で計画しています。(A)

発行所 **ワナーホーム
イキシア会**

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <http://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎